

なだれにご注意を

春分の日が近づき、少しずつ昼の長さが長くなっていきます。この季節に注意が必要な現象のひとつが「なだれ」です。

なだれとは、山などの斜面に積もった雪が重力の作用により崩れ落ちる現象で、「表層なだれ」と「全層なだれ」の2種類があります。

まず「表層なだれ」とは、積雪のある斜面に更にたくさんの雪が積もった後に起きやすい「なだれ」です。すでに積もっている雪と新しく積もった雪の間にすべり面が出来て、新しく積もった雪だけがすべり落ちるように崩れる現象です。次に、「全層なだれ」とは、斜面に積もっている雪の全体が崩れ落ちる現象です。これは、春先に気温が高くなった時に、積もった雪と地面との間に雪解け水が流れて、すべり面が出来ることにより地面と雪がはなれて、積もっている雪が全て崩れ落ちるものです。

気象台では、24時間に降る雪の深さが30cm以上、または積雪の深さが50cm以上で1日の平均気温が5℃以上になることを予想した場合に、「なだれ注意報」を發表します。冬山の登山など冬のレジャーを検討している方は、なだれの恐れがないか、気象台が發表する注意報等を確認してレジャーの計画を立てることが重要です。

また、暖かくなってくる時期に注意が必要なこととして、なだれの他に「屋根からの落雪」があります。これは、なだれ注意報の發表対象ではありませんが、気温が上がって雪どけが進むと予想される場合、屋根からの落雪に注意するよう網走地方気象台ホームページの「気象台からのコメント」で呼びかけます。

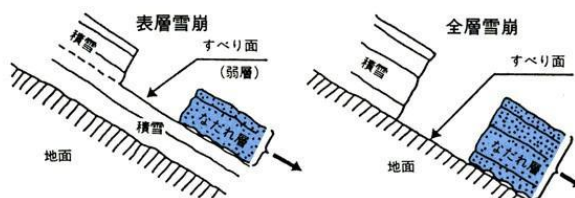
問い合わせ先 網走地方気象台
(電話：0152-43-4349)



網走地方気象台ホームページ



警報・注意報の發表状況はこちらから



出典：国土交通省ウェブサイト
(<https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sabo/nadare.html>)